

○主な備蓄食糧・資機材の充足率について

(R8.4月現在)

	品目	備蓄数量	目標数量	充足率	数量の根拠	備考欄
備蓄食糧	保存水(500ml)	36,672本 (18,336L)	36,000本 (18,000L)	100%	1人1日3L×2日分×3,000人分	・必要最低限の備蓄必要日数である3日分のうち、2日分を行政備蓄、1日分を個人備蓄とする
	アルファ米	18,050食	18,000食	100%	1人1日3食×2日分×3,000人分	・必要最低限の備蓄必要日数である3日間のうち、2日分を行政備蓄、1日分を個人備蓄とする
	乾燥みそ汁	18,240食	18,000食	100%	1人1日3食×2日分×3,000人分	・必要最低限の備蓄必要日数である3日間のうち、2日分を行政備蓄、1日分を個人備蓄とする
	粉ミルク	32缶	32缶	100%	1人1日5食×3日分×20人分	・対象は乳幼児(0歳)で、1食の調乳量200ml(粉換算26g)として目標総量10,530g(1缶800g×14缶)だが、使用時の衛生面を考慮し小分けせず、町指定避難所32か所に各1缶として備蓄する。
備蓄資機材	毛布	5,915枚	3,000枚	100%	1人1枚	・室温や体調等により1人2枚以上使用できる程度の枚数を備蓄する。
	マスク	44,150枚	42,000枚	100%	1人1日1枚×14日分×3,000人分	・一般的な避難所展開期である2週間分(14日分)を備蓄する。
	災害用簡易トイレ	38,300回分	45,000回分	85%	1人1日5回×3日分×3,000人分	・目標数量に対する不足分については、毎年度、計画的に購入する。
	使い捨て哺乳瓶	384本	300本	100%	1人1日5本×3日分×20人分	・対象は乳幼児(0歳)とする。
	子ども用紙おむつ	60パック	60パック	100%	1人1日8枚×3日分×60人分	・対象は0歳から2歳で、目標総数1,440枚だが、使用時の衛生面を考慮し小分けせず、町指定避難所である各地域センター等12か所に各サイズ1パックずつとして備蓄する。 ・1パックの目安は、新生児用76枚、Sサイズ70枚、Mサイズ56枚、Lサイズ48枚、Bigサイズ38枚とする。
	大人用紙おむつ	30パック	15パック	100%	1人1日2枚×3日分×78人分	・対象は要介護者等とし、目標総数468枚だが、使用時の衛生面を考慮し小分けせず、町指定避難所である各地域センター等12か所に各サイズ1パックずつとして備蓄する。 ・1パックの目安は、M～Lサイズ20枚、L～LLサイズ18枚とする。
	生理用品	450パック	378パック	100%	1人1日8枚×3日分×676人分	・目標総数16,224枚だが、使用時の衛生面を考慮し小分けせず、町指定避難所である各地域センター等12か所に対象人数比率によるパック数として備蓄する。 ・購入可能単位の都合上、目標数量378パックに対して、備蓄数量が450パックとなる。 ・1パックの目安は、43枚(昼用28枚、夜用15枚)とする。
	段ボールベッド	330台	294台	100%	1人1台×294人	・各地区において、災害時避難行動支援者支援制度に係る支援者登録台帳(R2.8月末現在)に記載されている、要支援者分294人に足りる台数を備蓄する。 ・津波や高潮等により避難所を開設する頻度の高い海岸地区には10台以上を備蓄する。 ・その他の避難者に対しては、協定先の事業者から優先的に有償提供を受けるものとする。
	段ボール製間仕切り	1,000セット	1,000セット	100%	備考欄のとおり	・内陸地区には、想定避難者数3,000人の約20%の台数を備蓄するとともに、海岸地区には、町指定避難所の収容可能人数相当分の台数を備蓄する。 ・その他の避難者に対しては、協定先の事業者から優先的に有償提供を受けるものとする。 ・段ボール間仕切りの仕様は、1人分4枚1セットで、高さ1.4m、幅2.0mとする。
	折り畳み式アルミマット	1,370枚	1,324枚	100%	1人1枚×1,324枚	・標津断層帯地震の想定避難所生活者数1,324人に足りる枚数を備蓄する。
プライベートテント	328張	294張	100%	1家庭1張×294人	・各地区において、災害時避難行動支援者支援制度に係る支援者登録台帳(R2.8月末現在)に記載されている、要支援者分294人(294家庭)に足りる台数を備蓄する。 ・津波や高潮等により避難所を開設する頻度の高い海岸地区には、10台以上を備蓄する。 ・その他の避難者に対しては、協定先の事業者から優先的に有償提供を受けるものとする。 ・プライベートテントの仕様は、1張4人程度とする。	